

2021.10.28 (木)
号外③

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

クラブ協議会

会長挨拶 杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。本日はお忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。本日も来訪のロータリアンをご紹介させていただきます。国際ロータリー第2500地区ガバナー・漆崎隆君。続きまして、国際ロータリー第2500地区第7分区ガバナー補佐・長倉巨樹彦君。同じく第7分区ガバナー補佐幹事・上川原昭君。同じく第7分区ガバナー補佐幹事・奈良清成君。本日、ご来訪の皆さまにおかれましては、当初の日程を変更していただいております。改めてどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。これから、クラブ協議会始めて行きたいと思いますが、

各委員会から活動方針を発表していただいた後、ガバナーから講評いただければと思っております。年に1度の貴重な機会でございますので、皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

国際ロータリー第2500地区 漆崎 隆ガバナー

改めまして、釧路ロータリークラブの皆さま、こんにちは。今日はコロナ禍で開催できなかった公式訪問の協議会ということで先般、会長・幹事会を行わせていただきまして、会長・幹事さんからは親しく近況とお話をお聞きさせていただきました。今日は、委員会の皆さま方にはコロナの関係で今年度の活動はなかなかできない環境ではありますが皆さまの計画案をお聞きしながら、今後のコロナ以降の活発な活動に結び付けていただけるお話を聞かせただけかと思っております。短い時間ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。今日は開催ありがとうございます。



国際ロータリー第 2500 地区

第 7 分区 長倉巨樹彦ガバナー補佐



皆さん、こんにちは。第 7 分区ガバナー補佐を務めます長倉です。

日頃は第 7 分区のいろんな事業にご尽力を賜りまして誠にありがとうございます。今年度につきましても、全道中学親善硬式野球大会は釧路クラブの皆さまのご尽力によって成功裏に終えることができました。本当にありがとうございます。

本日、このクラブ協議会につきましても、パストガバナーが 3 人もいらっしゃるクラブですので、私の方から何も申すことは多分ないと思います。釧路クラブの皆さまの日頃の活動は、どのようにやられているのかをしっかりと勉強させていただきまして、他クラブにアウトプットをと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

クラブ活動計画の発表 杉村 莊平会長



改めて、よろしく願いいたします。とてもテキパキと進行しておりまして、かなり進行が早まっている状態ですので、ゆっくり、しっかりと進めていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

僕の方からは会長方針、あと幹事からはクラブ概況等を説明させていただいた後、マイクを回していきますので各委員会から発表をお願いしたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。それでは、ここから着座にて進めさせていただきます。

会長方針から発表させていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

釧路ロータリークラブはこれまで 85 年に亘り、規律と寛容を両立させた素晴らしいクラブに発展してきたと思っております。僕が一番言いたいのは、ロータリーの本質が例会に出席し、メンバーと楽しく語り学ばうことにより自身の心を豊かに成長させるという親睦と、その心をそれぞれの家庭や職場・地域に持ち帰って実際につなげていくという奉仕であるとするれば、われわれはロータリーを楽しむことと豊かな地域を育むことがより強く連携し、好循環していく活動を目指すべきだと考えております。

特に日本製紙の問題とか地域のことにご貢献できる活動していくべきだと個人的には思っております。

同じように今年度、漆崎ガバナーは「ロータリーの素晴らしさを広めましょう」というスローガンを掲げられまして、地区方針に「親睦と持続可能な奉仕活動の推進」ということで、まさに親睦と奉仕を掲げていただいております。

これを踏まえて、今年度はコロナ禍からの再出発という思いも含めて、また創立 85 周年を節目としまして、わがクラブの歴史を振り返ることにより、その存在意義を再確認して、釧路ロータリークラブで活動できる喜びを分かち合い、その活動の輪を広げていく 1 年にしていきたいと考えまして、会長スローガンを「我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。」とさせていただいております。この循環をしっかりと作っていく活動を作りたいと考えております。

クラブ活動目標は 1 つ 1 つご説明しませんが、僕の考えとして増強にかなり力を入れたいと 1 年頑張っておりまして、各委員会、増強委員会などに本当に頑張らせていただきまして、既に 8 名の入会を今年度決めております。純増で 7 名ということになっておりますが、8 名拡大ということであと 2 名、純増で 3 名の 10 名を目標に頑張っていきたいと思っております。以上でございます。

クラブ概況および会務方針の発表 市橋夢佳丞幹事



それでは、私から「クラブ概況および会務方針」をご説明させていただきます。事業計画書の 12 ページをご覧ください。

まずは、会員数と内訳ですが、こちらは 7 月 1 日現在となっておりますが、10 月 28 日現在ですが 103 名の会員数となっております。こちらのチェックをお願いいたします。それに伴いまして、2 番・3 番の年齢とか在籍年数分布等に若干ずれが生じておりますけれども、こちらの方は後日、皆さまにご報告させていただければと思っております。

4 番、クラブの財政です。こちらはすべて予算に基づいて運営をさせていただきます。会費は上期・下期 7 万 5 千円の合計 15 万円で運営をさせていただければと思っております。新入会員の方には入会時に登録金 3 万円を納入していただくのは例年通りとなっております。ニコニコ献金につきましては、毎年の目標を 80 万円としておりますけれども、今年度も 80 万円として、目標額の達成目指して推進して参りたいと思っております。

5 番、理事会。6 番、委員会活動はご一読をお願いいたします。

7 番、クラブ協議会ですが、第 1 回は本年 7 月 8 日ク

ラブアッセンブリーを開催させていただきました。第2回9月30日となっておりますが、こちらは本日10月28日にガバナーによるクラブ協議会およびガバナー公式訪問となっておりますので日付の訂正をお願いいたします。第3回は1月13日、年が明けての上期活動報告ならびに下期活動計画の発表をさせていただきます。第4回は6月23日となっております。8番、総会ですが、本年は12月2日に年次総会を開催する予定となっております。詳細等が決まりましたら、皆さまに告知をさせていただきます。9番、クラブフォーラムおよび情報集会ですが、情報集会は近々に開催できるように三役ならびに理事会で検討を始めたところです。こちらも詳細決定し次第、皆さまに周知をさせていただければと思っております。10番、11番につきましては、ご一読をお願いいたします。12番、例会ですが、毎週木曜日12時半より13時30分までとなっております。ビジター・フィーは2,000円、ただし夜間例会は5,000円となっております。全ての例会は禁煙とさせていただきます。年末クリスマス家族会は12月9日、新年恒例会は1月6日、最終例会・キャンドルパーティーは6月30日となっております。現状、コロナ禍が多少沈静化しておりますので、こちらは開催する予定でありますので皆さま方のスケジュール調整をお願いいたします。新入会員歓迎会につきましては、先日、上期で行わせていただきました。下期にも開催させていただく予定となっております。13番、その他につきましては会長方針の下段にありますクラブ活動目標に即した記載の仕方となっておりますので、こちらは合わせてご一読をお願いいたします。私からは以上となります。

各位委員会発表

クリックすると活動計画書へ
リンクします

杉村 莊平会長

各委員会の皆さん、ありがとうございました。例年と違って4カ月経ってからのクラブ協議会ということで、これまた良いなと思いました。偉そうな言い方になりますが、本当に各委員会の皆さんから素晴らしい発表していただきまして、少し活動していただいてからの発表も貴重だなと思い、頼もしく思いました。本当にありがとうございました。それでは、マイクを浅川副会長に戻します。

講評 国際ロータリー第2500地区

漆崎 隆ガバナー

皆さま、ただいまは各委員会の計画と杉村会長が仰った実績を踏まえた発表をさせていただきまして誠にありがとうございました。

釧路クラブさん、皆さま方のクラブは現在、2500地区で最大のクラブであります。唯一の100名を超えるメンバーを抱えているクラブということで、2500地区のリーダークラブですから、地区の話を少しさせていただきますながらお話をと思います。

委員会活動については全く申し分ございません。皆さん、仰っていた過去の実績といい、現在取り組もうとしている姿勢といい、それから今年度向かおうとしている姿勢といい、これらのことについては私、十分聞かせていただきました。皆さまの発表のとおり進めさせていただきたいと思います。

地区の話を少しさせていただきますと、地区は以前3,200名のロータリアンがいたのですが、現在は残念ながら2,200名のロータリアンであります。100名以上のクラブは釧路クラブさんの1クラブだけです。そして、皆さんは今、会員増強に大変苦労されていて、ロータリーも100年経ちまして、次の100年を目指しているんな形で改革をしようとしている最中であり

ます。私もガバナーノミニニー・デジグネートを拝命したのが細川ガバナーの時ですから、足掛け4年に亘っていろいろな研修会に参加させていただき、世界の流れと日本の流れ、そして肌で感じる地区の流れをいろいろと研修させていただきました。

そんな中で、リーダーという存在が今こそ求められている時代はないのではないかなと思います。ご承知のようにロータリークラブは職業奉仕の高潔性を基準にした背筋を伸ばした部分と、皆さんが明日のエネルギーを培うための親睦の部分と、常にたくさんのファクターを合体してロータリークラブというのがあります。そんな中で皆さまは日々の仕事をしながら、このクラブの運営と当地区のことを考えながら、たくさんの地区役員を輩出していただき、パストガバナー、ガバナー補佐の皆さま方が活躍するバックアップをしていただいて、ここまで実績を積んでこられております。キャビネットの動きは大変なクラブの底力になりまして、このことが皆さま方の今日の発表の裏付けになるということは十分伝わってまいりました。

先ほど、出席委員会の中で「メイクアップ例会体験」と仰っていました。ぜひ、新入会員の方々を先頭に他クラブのメイクアップをしていただきながら、そして手を差し伸べるといふ部分、今現在、2500地区には大変なクラブがいくつもあります。このコロナでなお大変というクラブがいくつもあります。

私、66クラブの会長・幹事をリアルでやらせてい

ただきました。実は6月が始まる1日前だったので、残念ながら前年度『終結した下川クラブ』に行ってきました。下川クラブでは今年度の会長さん・幹事さんは決まっております。「月信」の人数申し込みもありました。それで、突然「終結」と聞いたものから、幹事予定者と私が釧路から急いで下川まで行ってきました。残念ながら「届け出」を出した後だったもので、お話を聞いても止めることはできませんでした。

ただ、今は大変なクラブがあっても、ロータリアンの友情の下、そのことで手伝えることができます。大変で、クラブの存続をかけているというクラブが現在、2500地区には1000人減った時と同じような環境がいま現在繰り広げられております。

そこでロータリアンの皆さん方に、元気のある、活力のある、経験者が大変いらっしゃる釧路クラブさんの皆さんに顔を出していただきながら、このひがし北海道を、ロータリー活動を通じての経済活動に貢献していただきたいと思ってやみません。

ロータリーはやはり職業人の集まりです。特に釧路クラブさんは私たちの街の誇りのクラブです。そうそうたる方々がメンバーでもありまして、事業も立派にされています。また今日の発表のようにロータリー活動も緻密にいろんな活動を手掛けております。硬式野球大会も、私もガバナー補佐の時に参加させてもらいました。全道から父兄の方々と一緒に子どもたちが集まるのです。子どもたちの大会のみならず、親の人たちが子供たちの成長を願って応援している企画に参加していること、釧路クラブさんは事業に今回は30名出席して継続してやっていることについては大変素晴らしいことと私は確信いたしました。

ロータリークラブだけがこういうクラブではありません。しかし、このクラブが、皆さまのひとつひとつのことが、ひとつひとつの行動が、この2500地区と街の経済に間違いなく相当なインパクトを与えていることは事実です。

66クラブを回っている中で、町長さんが参加しているクラブがいくつもあります。街の中核をなしているのです。1,650人の街でロータリアンが17名で、1%加入していることでR Iから3回表彰されたクラブもあります。そんな中で頑張っている人たちはすごく頑張っていて、経済にインパクト、リーダーシップ発揮しています。

また、それが「崩れそうだ」という町村もあるのです。こういう人たちはぜひ横の連絡を取りながら、皆さまが手を差しのべて、言葉かけて、それはロータリアンに会って、その地区の同僚の人とかいろんな形の中でコンタクトが取れると思います。メイクアップというのは、直接の素晴らしい手法です。そんな形でぜひ活動の中の考えに入れていただければと思います。

また、先般の地区大会ではご協力大変ありがとうございました。登録は900名超えました。実際に集まった方々は750名。ロータリークラブには大変素晴らしい方々がいらっしゃいます。「お医者さんの指導により感染防止に万全を尽くしてほしい」と、ご承知のようにソーシャルディスタンスを取ることから、換気を強制的に行い、消毒・検温・マスクなど万全の体制をとらせていただきました。そしてこれだけ経過して地区大会で発生は1件もありません。これは参加した皆さま方一人一人のコロナに対する考えと実行力と相手を気遣う気持ちがあって、このロータリアンのこの結束の素晴らしさから、こういう結果が出たと思います。

今回の2500地区大会は、今年度の全国の地区大会で最初だったのです。皆さん、開く・開かないで採めた結果、そして「そんなに集まって大丈夫か」という地区大会を開かせていただくことができました。これは釧路クラブの皆さんをはじめ地区のロータリアンの皆さまのコロナに対する日頃の思い、「ここからは発生させないぞ」という思いが現実に数字に表れた結果だと思います。

地区でひとつありまして、R Iから「このコロナにただ打ちひしがれるのではなくて、青少年に対する特別の計らいをしよう」と。実際、青少年交換留学生は来年度の6月まで自粛・禁止になっています。まだ決定しておりませんが、この7月以降開始されると思われることに、R Iでは『オーバーエイジ枠』という方法を考え、実行をしております。これは、交換留学生は18歳までなのですが、「行く予定だったけど行けなかった」「留学をしたかった」人のために、「この交換留学生に年齢を超えても特別にオーバーエイジ枠でロータリーの特権を与えて扱おう」となりました。このオーバーエイジ枠は輩出の学校と受け入れ校の同意が必要なのですが、この制度を利用しながら「行きたいけど、諦めた」という子がないように、その子たちに手を差しのべてあげていただきたいと思います。手続きは少し面倒なものですから、候補生はガバナー事務所に言っていただければ地区を通じてお手伝いさせていただきますので、このオーバーエイジ枠で子供たちの夢を「コロナでしょうがない」でなく、ぜひ手を貸していただければと思います。留学生を受け入れて、留学生を輩出して、やがてはこの地のリーダーを育てていく。その行為はロータリークラブにとって最も大事なひとつの事業であります。ぜひ、ご協力をいただければと思います。

時間になりました。皆さま方の素晴らしい協議会、そして人の層の厚さをものすごく感じさせていただきました。皆さま方の熱意を、このクラブの素晴らしさを地域の活力に結び付けていただきますことお願い申し上げます。私からの言葉とさせていただきます。

どうも今日はありがとうございました。

講評 国際ロータリー第 2500 地区 長倉巨樹彦ガバナー補佐

皆さんの活動計画発表、お疲れさまでした。あまり偉そうな言い方にならないようにお話をさせていただきます。

まず印象は、釧路クラブの皆さんは歴史と伝統のある大人のクラブだなととても感じましたし、各委員会の発表も具体的ですごく分かりやすいと思いました。杉村会長からは会員増強のお話がありました。この第7分区の第1回会長・幹事会を開催させていただきましたときに、シェカール・メータRI会長の今年度の目標テーマの中に「世界中のロータリアンの数を120万人から130万人にしたい」というお話がありました。これ単純に計算すると8%になるわけですが、釧路クラブの皆さんはすでに会長の目標5%を達成し、いまは純増7名、3名プラスして10名の目標を立てているということで、本当に素晴らしいと思っております。

いくつか気が付いたことは、今回で第7分区は8クラブ目、釧路クラブさんが最後になるのですが、会員数の多いクラブの活動計画書を見せていただくと、やっぱり委員会の数も多いですね。多いのが悪いと言っているわけでもないです。そもそもクラブ協議会に参加されている委員長の数、私の所属している南の会員数よりも圧倒的に多いのです。

皆さん、毎年ご覧になっている地区の委員会の組織図は必ず入れていただいています。各クラブも、うちのクラブもそうなのですが、クラブ内の組織図を記載されているクラブはなかったのです。これだけ数が多いと組織図を作るととても分かりやすいと思っているのです。それは、私やガバナーが分かりやすいという話ではなくて、新入会員が入られた時にこの委員会がどういう位置に所属しているのか組織図を見るとすごく分かりやすいです。これ、いま気が付いてお話をさせていただいて、そんなことを今後考えていただければなど思っている次第です。

話が変わります。グローバル補助金の方です。タイの3330地区でもいくつか事業をやられています。今、コロナ禍で事業はストップしておりますが、次年度に向けて釧路クラブさんにはぜひグローバル補助金で手を上げていただきたいと思っている次第です。

また、収支予算案について市橋幹事からいろいろお話がありましたけれども、各クラブではここまで詳細に収支予算の説明をいただいた所はありませんでした。これだけ詳しく説明ができるということはクラブの内容をしっかりと理解しているということだと思います。それは会員の皆さんの信頼につながる場所と思っております。

私とすると、いろいろな面で「さすが親クラブの釧路クラブさんだな」と思います。いろいろ勉強させていただきました。今後も第7分区、また2500地区のリーダーとして各クラブを牽引していただきたいと思えます。

本日はお疲れ様でした。ありがとうございました。

会長謝辞 杉村 莊平会長

漆崎ガバナー、長倉ガバナー補佐、本日は本当にありがとうございます。大変、ご丁寧な心のこもった講評いただきまして本当にありがとうございます。

前からそうですが、釧路クラブが100名のクラブということで、改めて僕らが思っている以上に周りからいい意味で見られているのだなと確認させていただきました。

やはり100人いるクラブということで各自が責任をしっかりと持ちながら活動していく必要があるのだと改めて思わせていただきました。本当にありがとうございました。

活動が始まりまして、4カ月経ちました。残り8カ月というところでは、本日はいただきました貴重なご意見を参考にさせていただきながら、改めて各自がロータリーを楽しんで、そしてより有意義な年度になるように、しっかりとやっていきたいと思っております。

本日はありがとうございました。

各委員会の発表風景

